

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587039301	科目番号 / Subject code	05870393
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12521_005		
授業科目名 / Subject	自然と暮らし (人間と社会) / Human and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	永田 聖二 / Nagata Seiji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	seiji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 本館 6階 612研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2310		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業到達目標/Goal	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。(10基盤的知識、B社会科学の内容を取り扱う)		
授業方法 (学習指導法) /Method	微分法を利用した最適化問題の手法や、線形代数の手法を利用して、資本主義経済の機構を数理的に解明する。		
授業内容/Class outline/Con	わたしたちが生活している資本主義経済の機構を理論的に考察する。		
キーワード/Key word	スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ、レオンティエフ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	稲田献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫) チャン、ウェインライト『現代経済学の数学基礎(上・下)』CAP出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験100%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的な知識があれば、理解の助けになる。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	経済学の課題と対象		
第2回	流通過程と重商主義思想		
第3回	アダム・スミスと国富		
第4回	アダム・スミスと生産過程		
第5回	リカードウと労働価値説		
第6回	リカードウと賃金論		
第7回	リカードウと地代論		
第8回	経済数学の基礎1: 微分法		
第9回	経済数学の基礎2: 最適化問題		
第10回	経済数学の基礎3: 偏微分と全微分		
第11回	ミクロ経済学: 消費者行動の理論		
第12回	マクロ経済学: 所得水準の決定と乗数効果		
第13回	経済数学の基礎4: ベクトルと行列		

第14回	経済数学の基礎5：連立方程式と逆行列
第15回	産業連関分析
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587039701	科目番号 / Subject code	05870397
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12531_005		
授業科目名 / Subject	自然と暮らし (暮らしと科学) ~ 住空間の計画とコモンスペース-住まうことを考える- / Life Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu, 永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第25講義室 / Room 25		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-sasano @nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 13時 15時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎の世界遺産などを教材に住空間の変遷を、1. 歴史性 2. 地方性 3. 階層性などの視点から読み解き、日本文化におけるコモンスペース (共空間) の普遍性を明らかにし、これからの住空間について考察する。 また、大学生の日常生活の空間であるキャンパスを通して、快適な住空間の計画および住環境の評価を行う。		
授業到達目標/Goal	大学の空間を教材として学んだ知識や空間能力を、他の空間で汎用、問題解決できる。() 大学や住居の空間におけるコモンスペースを学ぶことで、「空間の多様性」を認知し、コモンスペースの意義について理解できる。また、その視点から自己の生き方を考え、社会性を身に付けることができる。() これからの住空間について考察・提案できる。() 長崎の住文化および住空間の構成原理などについての基礎的な知識を理解できる。()		
授業方法 (学習指導法) /Method	大学生の日常生活空間である「講義室空間 教育棟空間 文教キャンパス空間」を教材とし、空間認識の発達段階の視点から展開するアクティブラーニング。		
授業内容/Class outline/Con	大学教養教育における住居学 現代社会の住空間 江戸時代後半の住空間 明治以降の住空間 これからの住空間 大学空間を教材とするアクティブラーニング		
キーワード/Key word	公共の精神 社会性 全体と部分 コモンスペース 空間認知		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	文部科学省: 高等学校学習指導要領解説 家庭編 文部科学省: 高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 佐々野好継: 大学教育における住居学のアクティブラーニング 長崎大学教育学部 平成26年3月		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	試験50% 小課題(製図を含む)30% 意欲・態度(20%)で合計60%以上が合格。 欠席1/3以上の場合は失格。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活における公共空間に興味・関心のある学生を希望します。また、空間計画の視点から地域社会をデザイン・貢献したい学生を希望します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	大学教養教育における住居学 - P B Lと学校教育のリカレント -		

2	現代社会の住空間（1） 現代住居における3つの型 続き間 -
3	現代社会の住空間（2） 長崎の住居の型 - 中廊下型と和室 -
4	現代社会の住空間（3） 住居の型の変遷 - アダノマとナイショ -
5	江戸時代後半の住空間（1） 長崎の伝統的民家 - 階層性と地域性 -
6	江戸時代後半の住空間（2） 世界遺産で学ぶ洋風建築 - 旧オルト住宅と旧グラバー住宅 -
7	明治以降の住空間（1） 長崎の近代建築と端島の集合住宅
8	これからの住空間（1） 持続可能なシステムと住環境
9	これからの住空間（2） 公私室型とコモンスペース
10	これからの住空間（3） 住まうことを考える
11	大学空間を教材とするアクティブラーニング（1） 空間認知・把握のための実践的・体験的活動
12	大学空間を教材とするアクティブラーニング（2） 講義室を教材とする平面図の概念の理解と空間リテラシー
13	大学空間を教材とするアクティブラーニング（3） 講義室を教材とする単位空間の考え方 - 生活行為と住空間 -
14	大学空間を教材とするアクティブラーニング（4） 教育棟の平面フロアを教材とする住空間の計画 - 機能図とゾーニング -
15	大学空間を教材とするアクティブラーニング（5） 文教キャンパスを教材とする住環境のリテラシー

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587040101	科目番号 / Subject code	05870401
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12541_005		
授業科目名 / Subject	自然と暮らし (数と自然) / number and nature		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	島袋 修 / Osamu Shimabukuro, 永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shimabukuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部棟310号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:10		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	この授業の前半では、諸問題を解きながら整数の性質を学ぶ。整数に関する問題は、実際に解こうとすると難しい問題が多いことに気づく。その背後にある理論を理解し、整数の世界の奥深さを感じてほしい。後半では、有理数、実数の世界まで考察する対象を広げ、それらの基本的性質を学ぶ。様々な不思議な性質に触れることで、数へのさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業到達目標 / Goal	自然数と整数について性質を理解し、証明できる。(1,3,7,11,12,13) ユークリッド互除法のしくみを理解し、具体的に問題を解けるようになる。(1,2,7) 合同式の計算ができるようになる。(3,7) 分数、小数、無理数について性質を理解し、証明できる。(3,9,11,12,13) 連分数展開ができるようになる。(7)		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義と演習を並行して行う。演習は前に出て問題を解いてもらう。		
授業内容 / Class outline / Con	16回 定期試験		
キーワード / Key word	整数、素数、分数、小数、無理数、連分数展開		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はLACSで配布する。 毎回の講義ノートをしっかりつくること。 参考書として高校数学の教科書があるとよい。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験60点 + 平常点40点 = 合計100点。 60点以上が合格。 平常点は授業中の発表回数を主とし、随時行う小テスト、レポート、授業への貢献などをもとに評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外学習に当たるべき時間: 週平均2時間以上		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	各自の講義ノートをよく復習すること。 授業で扱った内容に対応した練習問題を各自で探し、解いてみることを。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	記号について・集合		
第2回	自然数と整数		
第3回	素数と素因数分解		
第4回	素因数分解		
第5回	合同式		
第6回	孫子の剰余定理		
第7回	分数		

第8回	小数
第9回	無理数
第10回	実数
第11回	連分数展開
第12回	指数
第13回	対数
第14回	まとめ 1
第15回	まとめ 2
第16回	定期試験